

| 学習アウトカム   |  | 科目達成レベル<br>(医師見習い体験学習) |  |
|---|--|------------------------|--|
| <b>I. 倫理観とプロフェッショナリズム</b>   |  |                        |  |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に<br>責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。                  |  |                        |  |
| 2   | 倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。<br>1) 医療現場のルールに従い、診療の遂行に協力できる。  | C                      | 基盤となる態度・価値観を示せる<br>ことが単位認定の要件である<br>基盤となる知識を示せることが単位<br>認定の要件である |
| 3   | 法的規範を遵守し、行動に責任を持つことができる。<br>1) 患者、メディカル・スタッフに関する情報の守秘義務を果たす<br>ことができる。   |                        |  |
| 4   | 個人の尊厳を尊重し、心理・社会的要因と多様性を理解し、利他的、<br>共感的、誠実、正直に対応できる。<br>1) 指導医師の監督下で患者を面接できる。<br>2) 患者の問題を理解できる。<br>3) 患者の意志を尊重できる。 | B                      |  |
| 5   | チームの目標を達成するために、リーダーシップやフォロワーシッ<br>プを発揮して、多職種連携を実践できる。<br>1) 医療現場での専門職連携を見学し理解できる。<br>2) 医療専門職者とコミュニケーションできる。       |                        |  |
| 6   | 常に自己の心身と社会的状態を評価し、良好な状態（ウェルビーイ<br>ング）を保つことができる。<br>1) 無断で遅刻、欠席をしない。<br>2) 体調を管理できる。                                | C                      |  |
| 7   | 他者に対して指導や支援を求めることができ、自らも指導や支援を<br>することができる。<br>1) 同僚に対してピア評価、フィードバックを行なうことができる。                                    |                        |  |
| 8   | 自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向<br>上を図ることができる。<br>1) 医師のキャリア、業務を理解する。<br>2) 医療に関するトピックスについて学習し、発表できる。               | B                      |  |
| <b>II. コミュニケーション</b>  |  |                        |  |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に<br>良好な人間関係を構築し、情報を適切に取り扱い、わかりやすく伝えるために、以下の行動ができる。 |  |                        |  |
| 1   | 個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴し、共感、理解、支持的態<br>度を示し、信頼関係を築くことができる。  | B                      | 基盤となる態度、スキルを示せる<br>ことが単位認定の要件である                                 |

| 学習アウトカム   |   | 科目達成レベル<br>(医師見習い体験学習) |  |
|---|---|------------------------|--|
|   | 1) 指導医の監督下で患者と面接できる。  |                        |  |
| 2   | 他者やそれを取り巻く状況に配慮しながら、適切な方法で、必要な情報収集や情報伝達を行うことができる。<br>1) 指導医と適切なコミュニケーションがとれる。<br>2) 指導医の監督下で患者と面接できる。 |                        |  |
| <b>IV. 診療の実践</b>  |   |                        |  |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に<br>患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。 |   |                        |  |
| 1   | 医療面接を実施できる。<br>1) 心理・社会的要因に配慮しながら主要な病歴を正確に聴取できる。  | F                      | 基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である                             |
| 8   | 医療文書を作成できる。<br>1) 文書を適切に記載し、遅滞なく提出することができる。<br>2) 学習成果を適切にまとめ、発表することができる。                             | D                      |  |
| 10  | Evidence-based medicine (EBM) を実践できる。<br>1) トピックスについて文献等を検索し、エビデンスに基づいた発表が行なえる。                       | E                      | 基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である<br>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| <b>V. 社会と医療</b>   |   |                        |  |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に<br>個人と社会のつながりを理解し、社会と医療の発展のために、以下のことができる。       |   |                        |  |
| 2   | 保健・医療・福祉に必要な資源を活用し、連携・協働ができる。<br>1) 医療環境に応じたプライマリケアを見学する。   | D                      | 基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である<br>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |